



IMCJ

Innovation Management College of Japan

イノベーション 経営カレッジ 2025

INNOVATION MANAGEMENT
COLLEGE 2025

自社の変革を目指した
「活きた問題解決力」を磨きます

日程 (2025年 第23期)

事前オリエンテーション: 10月2日(木)
前半: 10月21日(火) - 24日(金)
後半: 11月18日(火) - 21日(金)
総括: 1月9日(金)

会場

前後半: 軽井沢プリンスホテル(長野県軽井沢町)
事前オリエンテーション/総括: JUAS会議室

参加費用

個室宿泊費・食事代含む。会場への往復交通費含まず

1名様 748,000円(税込) 本体価格 680,000円



一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
Japan Users Association of Information Systems

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-14 NBF東銀座スクエア2階
TEL: 03-6264-1312 HP: <https://juas.or.jp/imcj/>
E-mail: im_college@juas.or.jp (IMCJ事務局)

明日のイノベーション経営の担い手を育成する

世界中で起きている激しい変化の中、企業が存続・発展していくためには、新たな価値を生み出すとともに、自らを変えていくことが必要となっています。今や変革に不可欠な存在となったデータとデジタル技術、これらを武器として活用し、自らを変革し、新しい価値を創造することが「イノベーション経営」です。そして、企業においてイノベーション経営を実現するにあたっては、関係する人の心を動かし、マインドを変えていくことも、欠かすことのできない重要なファクターです。

イノベーション経営カレッジは、「企業と人の心を変革するイノベーション」を実践する人材を育成・支援する場です。

「プログラム」「コミュニティ」「ラボ」という3つの活動を通して、「イノベーション経営の普及・推進」に取り組んでいます。

このうち、「プログラム」のIMCJ2.0では、2009年より、次代のイノベーション経営を担うミドルマネジメント層向けのプログラムを実施、のべ360名の卒業生を輩出してまいりました。いずれも企業の中核を担う人材として活躍されています。

IMCJ2.0 5つのポイント・3つの要素

POINT 01 実践的

企業として今直面する課題をテーマとして取り上げるとともに、今まさに変革に取り組んでいる先達の講演と、近い問題意識を持つ同期メンバーとのディスカッションを通し、課題解決に向けた実践的な知見・力を磨きます。

POINT 02 体系的

社会環境をふまえ、今～数年後にフォーカスし、変革を担う人材にとって、必要な知識や考え方を体系的にプログラムに盛り込んでいます。

POINT 03 ここでしか聞けない

講師陣は日本を代表する CEO や CIO、そのテーマのエキスパート。お持ちの経験とノウハウ、マインドを惜しむことなく披露、その情報と熱意のシャワーを浴びることができます。

POINT 04 企業を越えたネットワーク

これまでの参加メンバーは各期15～20名程度、通算350名超を数えます。プログラム参加時だけでなく終了後も、様々な情報交換を実施し、そのネットワークは他の期の参加メンバーや講師陣にも広がっています。

POINT 05 高い評価

1～22期を通し、参加メンバーの9割以上が受講後アンケートで「とても満足」と回答いただいています。

1.イノベーションの実践 (業務やビジネスの変革)



2.環境整備

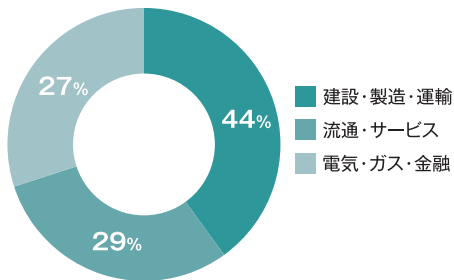
- 企業内変革 組織・人材・企業内文化
- IT変革 IT・デジタル技術活用環境の整備

3.リーダーシップ

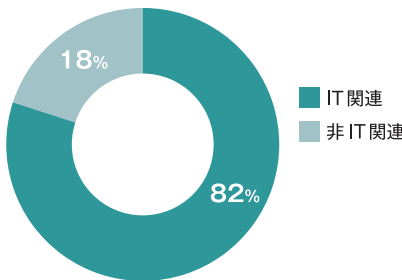
- ステークホルダーの心を動かす

IMCJ2.0参加実績・評価 (第1期～22期)

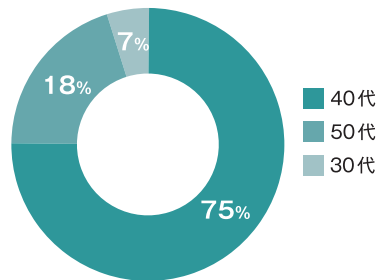
参加者の所属業界



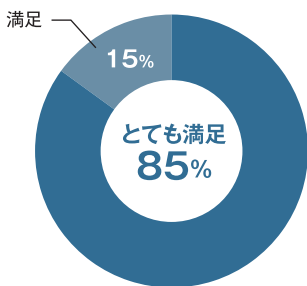
参加者の従事業務



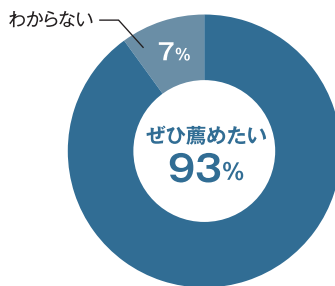
参加者の年齢層



全体評価



IMCJプログラムへの推薦意向



※第1期～22期
(2009年～2024年開催)
のべ360名が参加

IMCJ2.0カリキュラム例 (2024年第22期)

		AM1 9:00-9:30	AM2 9:40-12:10	PM1 13:30-14:20	PM2 14:40-15:30	PM3 15:50-16:40	PM4 17:00-17:50	PM5 18:10-19:00
前半	1 目 10/1			◆講義・オリエンテーション 「イノベーションリーダーへの期待」 株式会社大阪取引所 横山 隆介 氏		◆講義 「デジタルイノベーションの潮流と情報システム部門の役割」 株式会社インプレス 田口 潤 氏		交流会 (18:30-20:00)
	2 目 10/2	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「データドリブン経営 ～SCMとMKに関する情報活用～」 元 花王株式会社 大路 延憲 氏	◆ケーススタディ 「JFEスチールの挑戦 ～変革に向けた骨太の取組を追求して～」 JFEスチール株式会社 新田 哲 氏		◆講義 「経営戦略～強さの構築～」 名古屋商科大学ビジネススクール 根来 龍之 氏		
	3 目 10/3	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「JR東日本におけるデータ マーケティングの推進と人材育成」 東日本旅客鉄道株式会社 渋谷 直正 氏	◆ケーススタディ 「トラスコ中山におけるDXの推進と それを支える企業文化・風土の醸成と情報シスム」 トラスコ中山株式会社 数見 篤 氏		◆ケーススタディ 「アジャイルで挑む維新、東京海上のDXとは」 東京海上日動火災保険株式会社 村野 剛太 氏		
	4 目 10/4	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「Challenge !!」 日本イベントコーポレートソリューションズ 株式会社 石野 普之 氏	オリエンテーション (前半振り返り) ※14:15終了				
後半	1 目 11/12			オリエンテーション (13:30-14:00)	◆講義 (14:10～16:10) 「イノベーション経営の世界的動向の変化」 一般社団法人Japan Innovation Network 松本 毅 氏	◆ケーススタディ (16:30～19:00) 「バイモータルIT」 株式会社クレディセゾン 小野 和俊 氏		
	2 目 11/13	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「自分が変われば世界も変わる! よなよなエール流チームづくり」 株式会社ヤッホーブルーイング 井手 直行 氏	◆ワークショップ 「既存ビジネスの変革 デザインキャンパ」 元 花王株式会社 (株式会社Symval) 濱田 文吾 氏				
	3 目 11/14	前日 振り返り	◆講義 「人工知能の最新動向と活用事例」 株式会社博報堂DYホールディングス 森 正弥 氏	◆講義・ワークショップ 「IT組織のデジタル戦略」 株式会社NTTデータ経営研究所 三谷 慶一郎 氏		ディスカッション		
	4 目 11/15	前日 振り返り	◆講義 「多様な個性を重視する経営」 サイボウズ株式会社 青野 慶久 氏	◆ケーススタディ 「横河電機の2つのDXとは」 横河電機株式会社 船生 幸宏 氏		総括に向けて& オリエンテーション		
総括	12/20	発表						修了式

 ケーススタディ(事例)
 講義(一部ワークショップあり)
 ワークショップ
 その他
 発表

<https://juas.or.jp/imcj/>

参加者からのコメント

- これだけ集中して濃厚な講義を受けることができる機会をいただけたということが、本当に貴重でした。様々な講師の方の考え・取り組みを様々な面で知ることができ、研修生の皆さんと各社の状況を踏まえながら議論させていただけたことは何よりのものでした。8日間で自分自身の理解・意識が爆発的に上がっていることは、ディスカッションの中でも感じられるものでした。
- 各分野で大活躍されている講師陣から、最新の情報や具体的な事例などについて、ここでないと聞けない話がたくさん聞けました。また、同じような立場で業務されている参加メンバーが抱えている課題や考えていることを聞くことができ、同じ悩みや気づいていない課題に気づかされました。
- DX 推進に向けて多くのテーマ・要素があり勉強になったと同時に、会社の現状・未来を知る必要があると課題認識を持つことができました。会社の成長に向けて、道のりは簡単ではないことを改めて認識することができ、経営に対してこれまで以上に関与していきたいマインドを持つことができました。



ケーススタディ

企業推薦者の期待

- 技術力に加えて、IMCJ を受講することによってマネジメント能力に磨きを掛けていただき、社業の発展に貢献して貰いたい。
- ビジネスにおいても、身近においても様々なパラダイムシフトが起こっており、変化に適応し、新しい価値の創造を実践する人財は、企業が更に躍進するために最も重要な要素である。次世代経営管理職育成の一環として、イノベーション経営カレッジに参加し、学ぶことで、様々な知見に触れ、視野、人脈を広げ、デジタル変革を率先する人財として更に活躍することを期待する。
- 系統的な学びに加えて、同じような立場にある他社の人材との関係構築と継続的な交流を通して、一層の成長に期待している。



ワークショップ